

災害救護速報

平成 26 年 8 月 10 日（日）17:00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
(Tel. 03-3437-7084)

台風第 12 号及び台風第 11 号に伴う大雨等災害に対する日本赤十字社の対応について（4）

平成 26 年台風第 12 号及び台風第 11 号により発生した被害に対する日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

1 概要

（1）人的被害

死者	4 人	愛知県 1 人、島根県 1 人、山口県 1 人、徳島県 1 人
行方不明者	1 人	山口県 1 人
重傷者	5 人	山口県 2 人、広島県 1 人、宮崎県 1 人、鹿児島県 1 人
軽傷者	28 人	宮崎県 6 人、高知県 5 人、大阪府 4 人、他 7 県 13 人

（2）住家被害

全壊	3 棟	山口県、高知県
半壊	2 棟	香川県、高知県
一部破損	73 棟	三重県、大阪府、鹿児島県、高知県、宮崎県等
床上浸水	693 棟	高知県、徳島県、山口県、青森県、北海道等
床下浸水	1,629 棟	徳島県、高知県、新潟県、奈良県、北海道、青森県等

（3）災害救助法の適用

高知県

吾川郡いの町（平成 26 年 8 月 3 日適用）

高知市、長岡郡大豊町（平成 26 年 8 月 9 日適用）

（4）救援物資の配分

支部名	救援物資	配分数
徳島県支部	毛布	520
	緊急セット	222
	タオル	3030
	石鹸	2500
高知県支部	毛布	1435
	緊急セット	500
	安眠セット	140
	タオル	628
山口県支部	毛布	250
	安眠セット	30

2 気象概況（消防庁発表資料から：8月10日09:00現在）

（1）台風第12号と大雨について

- ・7月30日3時にフィリピンの東の海上で発生した台風第12号は、31日から8月1日にかけて沖縄本島地方に最も接近したのち、暴風域を伴いながら東シナ海を北上し、4日3時に黄海で熱帯低気圧に変わった。
- ・7月30日頃から、北日本や西日本で雨の日が多くなっており、特に四国地方では、降り始めからの雨量が1000mmを超える猛烈な雨の降ったところがある。
- ・前線や南からの暖かく湿った空気の影響で、5日夜から中国地方や東北地方で大雨となり、特に山口県では、局地的に1時間に100mmを超える猛烈な雨の降ったところがある。

（2）台風第11号と大雨について

- ・強い台風第11号は、10日7時には安芸市付近にあって、およそ20km/hで北北東へ進んでいる。中心の気圧は965hPa、中心付近の最大風速は35m/s、最大瞬間風速は50m/sで中心の南東側170km以内と北西側130km以内では風速25m/s以上の暴風となっている。また、中心の南東側500km以内と北西側390km以内では風速15m/s以上の強い風が吹いている。
- ・西日本では猛烈な風が吹き、猛烈なしけとなっており、西日本の太平洋側と東海地方を中心に猛烈な雨を伴い大雨となっている。

3 被害の状況（消防庁調べ：8月1日以降、8月10日09:00現在）

都道府県名	人的被害（名）				住家被害（棟）				
	死者	行方不明	重傷者	軽症者	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
北海道								17	71
青森県				1				21	75
秋田県								1	13
新潟県								1	49
石川県									5
愛知県	1							3	1
島根県	1								2
三重県				1			27		26
滋賀県									1
大阪府				4			10		4
奈良県								2	46
和歌山							3		

鳥取県									<u>2</u>
島根県	<u>1</u>								<u>2</u>
広島県			<u>1</u>				2	3	22
山口県	1	1	<u>2</u>	<u>2</u>	2			<u>61</u>	<u>2</u>
徳島県	1							<u>251</u>	<u>901</u>
香川県				<u>1</u>		<u>1</u>			
愛媛県				<u>2</u>					
高知県				<u>5</u>	<u>1</u>	1	<u>7</u>	<u>333</u>	<u>405</u>
熊本県									1
大分県				<u>2</u>					
宮崎県			<u>1</u>	<u>6</u>			<u>6</u>		<u>2</u>
鹿児島県			1	3			15		1
沖縄県							<u>3</u>		
合計	<u>4</u>	1	<u>5</u>	<u>28</u>	<u>3</u>	<u>2</u>	<u>73</u>	<u>693</u>	<u>1,629</u>

4 避難の状況等（消防庁調べ：8月2日以降、8月10日09:00現在）

（1）台風11号等に伴う大雨等による避難状況等について

ア 避難指示

発令中：239,573世帯 572,559名（5県18市町）

解除：なし

イ 避難勧告

発令中：270,856世帯 629,969名（14県87市町村）

解除：4,928世帯 10,890名（8月9日15:00～8月9日18:00）

（2）台風第12号等に伴う大雨等による避難状況について

ア 避難指示

発令中：49世帯 100名（2県2市町）

解除：3,811世帯 9,300名（8月2日13:10～8月6日16:30）

イ 避難勧告

発令中：2,505世帯 4,518名（3県3市町）

解除：291,444世帯 631,312名（8月1日13:50～8月8日09:30）

5 災害救助法の適用（内閣府：8月10日12：00現在）

現在以下の地域において、継続した救助活動が必要とされるため、災害救助法が適用されています。

高知県

吾川郡いの町（平成26年8月3日適用）

高知市、長岡郡大豊町（平成26年8月9日適用）

6 日本赤十字社の対応

8月10日17時00分現在で、日本赤十字社各都道府県支部・施設における被害は確認されていません。

(1) 各支部の対応

北海道支部

8月5日

13時40分、温根別へ毛布17枚、緊急セット14セット、日用品セット2セットを配布。

13時50分、沼田町へ毛布5枚を配布。

18時18分、幌加内町へ毛布16枚を配布。

滋賀県支部

8月9日

10時30分、支部職員1名が登庁、情報収集等開始。

17時30分、職員を交代し、宿直待機。

8月10日

9時00分、支部職員3名、防災支援奉仕団2名にて情報収集等開始。

京都府支部

8月9日

8時53分、職員2名が支部待機、情報収集等開始。

大阪府支部

8月9日

13時00分、支部職員1名が待機、大阪赤十字病院にて職員1名が待機。

17時30分、支部職員1名が追加持機。

8月10日

9時00分、支部職員1名追加持機。

兵庫県支部

8月9日

17時30分、支部職員2名にて待機、情報収集等開始。

8月10日

9時00分、職員を交代し、3名にて待機。

奈良県支部

8月9日

7時30分、支部職員1名にて待機、情報収集等開始。

20時00分、職員を交代し、宿直待機。

和歌山県支部

8月9日

11時00分、支部職員2名にて待機、情報収集等開始。

17時30分、職員を交代し、待機継続。

8月10日

9時10分、支部職員2名にて情報収集等開始。

山口県支部

8月7日

12時00分、岩国市社会福祉協議会とともにボランティアセンター設置、山口県赤十字防災奉仕団員も運営スタッフとして参加。

8月8日

9時00分、山口県赤十字防災奉仕団、災害ボランティアセンターにて活動開始。

19時10分、岩国市地区へ毛布120枚、バスタオル120枚を搬送。

8月9日

13時40分、和木町社会福祉協議会へ毛布100枚を搬送。

17時15分、岩国市地区へ毛布30枚、安眠セット30セットを搬送。

香川県支部

8月3日

9時07分、支部職員1名が登庁し、情報収集を行う。

8月6日

8時30分、高知県支部支援のため、支部職員1名、ボランティア2名を派遣。

11時45分、同職員が高知県支部へ到着。

13時48分、同職員が高知県大豊町総合ふれあいセンターへ毛布100枚、緊急セット30枚、安眠セット100セットを搬送。

15時47分、高知県支部を支援の同職員が香川県支部へ帰着。

徳島県支部

8月2日

支部職員 1 名にて情報収集を実施。

8月3日

支部職員 3 名にて情報収集を実施。

8月4日

8時45分、支部職員が情報収集を開始。

10時55分、小松島市役所へ毛布 90 枚、緊急セット 30 セット、タオル約 400 枚、石鹼約 600 個を搬送。

17時00分、支部職員 2 名により阿南市役所に毛布 150 枚、緊急セット 72 セット、タオル約 770 枚、石鹼 500 個を搬送。

18時00分、南部総合県民局美波庁舎に毛布 220 枚、緊急セット 84 セット、タオル約 1360 枚、石鹼 800 個搬送。

8月6日

09時40分、小松島市役所に毛布 60 枚、緊急セット 36 セット、タオル 500 枚、石鹼 600 個を搬送。

愛媛県支部

8月4日

16時50分、支部職員 2 名を高知県支部支援のため同支部へ派遣。

高知県支部

8月3日

支部職員 4 名にて情報収集を実施。

8月4日

7時00分、支部職員が情報集を開始。

9時30分、高知県支部ボランティアセンターを立ち上げ。同支部防災ボランティア等 9 名が参集し、救援物資の積み込み搬送等を行う。

10時45分、同支部防災ボランティアが毛布 50 枚を香美市福祉事務所へ搬送のため同支部を出発。

14時15分、日高村へ毛布 300 枚、緊急セット 102 セット、スポーツタオル 300 枚を日高村社会福祉センターへ搬送。

8月5日

11時55分、高知県支部防災ボランティア等 4 名がすこやかセンターいのへ毛布 360 枚、緊急セット 150 セットを搬送。

13時40分、南国市へ緊急セット 30 セットを搬送。

14時25分、朝倉ふれあいセンターへ毛布 4 枚、緊急セット 4 セット、毛布 10 枚を搬送。

14時46分、鏡支所へ毛布15枚、緊急セット5セット、タオル50枚を搬送。

8月6日

11時20分、旭町木村会館へ毛布60枚、緊急セット36枚、スポーツタオル30枚を搬送し支部へ帰着。

11時35分、土佐山支所へ毛布15枚、緊急セット7セットを搬送。

13時35分、高知市秦分区へ毛布19枚、緊急セット6セット、タオル20枚搬送。

14時05分、日高村社会福祉センターへ毛布50枚、緊急セット42セット、タオル50枚を搬送。

15時05分、支部へ来所した須崎市職員へ、毛布120枚、緊急セット24セットバスタオル50枚を提供。

8月7日

14時55分、大豊町に安眠セット40セットを搬送。

17時10分、大豊町に毛布100枚を搬送。

8月8日

14時20分、高知市初月ふれあいセンターへ毛布220枚、緊急セット90セット、タオル243枚を搬送し、支部へ帰着。

15時10分、高知市朝倉ふれあいセンターへ毛布4枚、緊急セット1セット、タオル5枚を搬送し、支部へ帰着。

8月9日

10時17分、秦分区担当者へ、ハイゼックス（災害救援用炊飯袋）を100枚提供。

10時18分、高知市朝倉ふれあいセンターへ毛布5枚、緊急セット2セット、タオル5枚を搬送。

15時50分、大田口総合ふれあいセンターに毛布100枚、タオル80枚を搬送。

16時01分、大豊町役場へ毛布50枚、タオル40枚搬送。

8月10日

支部職員3名にて情報収集等の対応。